

神田川

【作詞】喜多條 忠
【作曲】南一こうせつ

貴方はもう忘れたかしら
赤い手ぬぐい マフラーにして
二人で行った 横丁の風呂屋
一緒に出ようねって 言ったのに
いつも私が 待たされた
洗い髪が芯まで 冷えて
小さな石けん カタカタ鳴った
貴方は 私の身体を抱いて
冷たいねって 言ったのよ
若かった あ頃
何も怖くなかった
ただ貴方のやさしさが怖かった

貴方はもう捨てたのかしら
二十四色のクシを買って
貴方が書いてた 私の似顔絵
巧く書いてねって 言ったのに
いつもちっとも 似てないの
窓の下には 神田川
三畳一間の 小さな下宿
貴方は私の 指先見つめ
悲しいかいって 聞いたのよ
若かった あ頃
何も怖くなかった
ただ貴方のやさしさが怖かった

神田川

【作詞】喜多條 忠
【作曲】南一こうせつ

1.

■□ 貴方は もう忘れたかしら
赤い手ぬぐい マフラーにして
二人で行った 横丁の風呂屋
一緒に出ようねって 言ったのに
いつも私が 待たされた
洗い髪が芯まで 冷えて
小さな石けん カタカタ鳴った
貴方は 私の身体を抱いて
冷たいねって 言ったのよ
若かった あの頃
何も怖くなかった
ただ貴方のやさしさが怖かった

神田川

【作詞】喜多條 忠

【作曲】南一こうせつ

2.

■ ■
貴方はもう捨てたのかしら
二十四色のクレパス買って
貴方が書いた 私の似顔絵
巧く書いてねって 言ったのに
いつもちっとも 似てないの
窓の下には 神田川
三畳一間の 小さな下宿
貴方は私の 指先見つめ
悲しいかいて 聞いたのよ
若かった あの頃
何も怖くなかった
ただ貴方のやさしさが怖かった